

## 矢野 直弥くん（高鍋東中出身）



**私は、電気通信大学 情報理工学域 II類（融合系）電子情報学プログラム に推薦入試で合格しました。**

この、電気通信大学はあまり知られていませんが、東京都調布市にある国立大学で、情報・通信・理工系では熊本大学や広島大学の工学部に並ぶ高い専門性を持っています。

試験内容は、書類審査・面接に加え、数学・物理の口頭試問、数学・物理・化学・英語の筆記試験でした。口頭試問は教科書レベルの本当に基本的な問題でしたが、「なんとなくこうなる」では通用しません。公式などは単に当てはめるだけでなく、証明の流れに紐付けて覚えることや、解ける問題でも「なぜこうなるのか」と一つ一つに疑問を持ち解決することが大切だと実感しました。

私は、高校入学時から英語を苦手としていましたが、日々の課題、小テストをコツコツと取り組むことで2年次には英検2級を取得することができました。また、探究科学コースの1期生として、様々な活動をしてきました。その中でも、2年次に各々がテーマを定め、1年間かけて研究を行い、発表・論文制作を行う探究活動で、私は「自作スピーカーの音質向上」をテーマに研究を行いました。残念ながら、自分で満足の行く研究結果には至りませんでした。興味のある分野に時間をかけ研究ができるという機会はとても貴重だと感じました。通信工学や音響工学を学ぶことができるこの大学で、高校できなかつたこと・やり残したことを一つでも多く学び、将来は音響エンジニアになりたいと考えています。

試験の直前までご指導いただいた担任の先生や教科担科の先生、支えてくれた家族に感謝の気持ちを忘れることなく、4年間の大学生活を実り多いものにしたいと思います。

---

## 織田一希くん（高鍋西中出身）

**私は、山口県立大学国際文化学部国際文化学科に推薦入試で合格しました。**



この大学は、宮崎県内ではよく知られていないと思いますが、「西の京」と謳われた山口市の北東の閑静な地、宮野桜畠に位置し、教育環境に恵まれた大学です。ワンキャンパスで小規模な大学ですが、各言語ネイティブスピーカーの授業や、世界各国からの留学生と交流する機会が多いのが特徴の1つです。

推薦入試の試験内容は、小論文（60分）、プレゼンテーション（5分）、集団での英語面接（15分）でした。この大学を受験された高鍋高校の先輩方がほとんどいなかったため、情報がなく、受験対策には苦労しました。

そのため、大学の赤本や先生が準備してくださった小論文等をジャンルに関係なく書くなどして、準備しました。

私は決して勉強ができる方ではありませんでしたが、今思えば、1年生の頃からコツコツと勉学に励んで来たことが強みになったと思います。また、私は中学生の頃から、国際情勢や国際紛争に興味があったので、高校2年次に、1年間かけて研究、論文作成を行う探究活動で「平和意識と平和教育」をテーマに研究を進めました。この研究で培ったものを今後の大学での研究発表等に生かしていこうと思います。

大学では国際関係論や文化人類学を学び、山口県立大学特有のNPO体験も可能な海外研修を通して、自ら積極的に各地域の課題を発見し、解決策を導き出していくことが私の目標です。

試験の直前まで、様々な面で支えてくださった担任の先生をはじめ、小論文、プレゼンテーションの添削やアドバイスをしてくださった先生方、18年間支えてきてくれた家族に感謝の気持ちを忘れず、大学で確かな知識と考察力を身につけ、国際社会に貢献できる人材となれるよう、努めていきたいと思っています。

---

---

## 木脇広大くん（木城中出身）



**私は、熊本大学工学部マテリアル工学科に推薦入試で合格しました。**

この学科では、「KUMADAI マグネシウム合金」という独自の物質を作り出すことに成功するなど、最先端の研究を行っています。

推薦入試は、1次に書類審査、2次に面接、物理・化学・数学の口頭試問が行われました。口頭試問の内容はいずれも教科書の内容でしたが、授業ではあまり取り扱われない深い所を質問され、しっかりと公式を理解し、その回答になるという証明ができないといけなかったので、普段から、深い学習をすることの必要性を改めて感じました。

高校生活では、日々の勉強と部活動を両立するために、両方ともおろそかにしないように取り組み、中学時代から得意だった英語をさらに伸ばし、英検2級を取得しました。学校行事には積極的に取り組み、運営に尽力してきました。2年次の探究活動として、「自作スピーカーの音質向上」というテーマで研究をしました。思うような結果は得られませんでした。実験をする上で、理論や公式を確認することはもちろん、器具などの事前の確認が大切だということを学びました。

大学では、これまで以上に勉強に励み、将来は大学で学んだ知識を生かし、物質関係の職業に就きたいと考えています。

ご指導していただき、たくさんの支援をしてくださった担任の先生や、各教科担当の先生方、これまで共に頑張り過ごしてきたクラスメート、そして私をここまで育ててくれた家族に感謝し、充実した大学生活を送りたいと思います。

---

---

## 松井健太郎くん（高鍋東中出身）



**私は宮崎大学農学部植物生産環境科学科に推薦入試で合格しました。**

志望した理由として、私の親が農家ということもあり、地元宮崎での農業発展に貢献したいと考えたからです。宮崎大学は多くの実践があるという点で有名です。

試験内容は、口頭試問、面接でした。口頭試問は、英語と化学、物理、生物の中から1科目、合計2教科から質問されました。英語、化学ともに基本的な内容でした。逆に言えば全問満点を取るという気持ちで臨む必要があると思います。私は、全教科の中で、化学が最も苦手でした。苦手克服のために、今年に入り、ゴールデンウィーク、夏休みを利用し、化学の勉強に時間を費やしました。今では、得意な教科になっています。

また、高校2年次に、ナメクジについての課題研究を行いました。行った実験は簡易なものでしたが、実験の難しさなどを学ぶことができた点は多くあります。大学では害虫に対する天敵の研究がしたいと考えているため、将来につながる良い経験であったと思います。

私は志望理由の内容を何度も書き直し、多くの先生方にご迷惑をおかけしました。私の推薦入試対策に携わっていただいた方々に感謝の思いを持って、農業発展に貢献する人材になりたいと思います。

---

---

## 發田 和くん（高鍋東中出身）



**私は鹿児島大学理学部数理情報科学科に AO 入試で合格しました。**

この学科では、数学的思考力を基礎とし、数理科学と情報科学の知識と経験を深める教育・研究が行われています。

私は、2年次に行った「探究」という課題研究において、「数の性質を利用した計算」というテーマで約1年間研究を行いました。研究の当初は苦戦しましたが、なんとか発表を成功することができました。この研究を通して、代数計算と微積分に興味を持ったので、この大学で研究したいと思っています。

私が受験した AO 入試は、筆記試験、面接、口頭試問が2日間行われました。筆記試験は数学150分です。その後、面接、口頭試問では基本的なことを質問されました。しかし、どの質問も数学の本質を理解しているかを問われるもので、公式の証明の暗記では不十分だと感じました。

私が合格できたのは、様々な人の支援があったからなので、感謝の気持ちを忘れず、次は自分が他の人を支えたいと思います。

---

---

## 大西渉太くん（都農中出身）



**私は佐賀大学農学部応用生物科学科に推薦入試で合格しました。**

試験内容は、小論文、科学と生物の口頭試問、面接でした。小論文は農学に関する英文を読み、そのテーマを50字以内で書く問題と、これからの農業研究に期待できる自分の考えを800字以内で書く問題でした。私は生物ではなく物理を履修していたので、生物の口頭試問対策を、生物の先生にご指導いただきました。化学は教科書をよく読んでおけば解ける問題です。

私は2年次に探究科学コース独自の課題研究で、「農薬を使わずに害虫を防ぐ方法」を研究しました。結果としては害虫を駆除できる方法を見つけることができましたが、課題もいくつか残りました。その課題を克服したいと思ったことが、佐賀大学を受験するきっかけとなりました。また、1年次のサイエンス探究ツアーがきっかけで、将来、農業の研究者になろうと志しました。佐賀大学で農学に関する知識を習得し、日本のみならず、世界に貢献できるような研究者になりたいです。

受験前には、担任の先生をはじめ、各教科の先生方に、昼休みや放課後等の貴重な時間を割いてご指導いただき、大変感謝しています。これからの大学4年間、夢に向かって努力し続けたいと思います。

---

---

## 作田実優さん（高鍋西中出身）



**私は、佐賀大学経済学部経営学科に推薦入試で合格しました。**

試験内容は、書類審査、小論文、面接（口頭試問を含む）でした。小論文は、「電力の需給構造について」の問題で、口頭試問は、「選択的夫婦別姓について」でした。どちらにも政治、経済についての幅広い知識が必要になります。多くの過去問を解いてみること、日々のニュースや新聞に目を通すことが大切だと痛感しました。

私は、探究科学コースの活動を通じて、様々なことを体験しました。私が印象に残っている活動は1年次の立命館アジア太平洋大学での異文化交流体験です。周りは英語を話す人ばかりで、自分の英語も上手に伝えられない状況におかれ、英語に力を入れるきっかけになりました。また、2年次の探究活動では、「日常に潜む黄金比」についての研究をしました。私は文系ですが、数学という分野に挑戦し、今まで踏み入れたことのない研究をするのも良いと思いました。

大学では会計士になるため、経済学、経営学、法律学を幅広く学び、さらに多くの資格取得を目指して日々努力します。

3年間支えてくださった先生方、試験対策のために放課後遅くまで指導してくださった先生、そして多くの面で支えてくれた家族に感謝し、大学生活の4年間を後悔のないもの にしたいと思います。

---